

〒145-0061 東京都大田区石川町1-14-11
グリーンヒルズ大岡山102号

TEL 03-6421-8320 FAX 3728-5071
Eメール jrroukairou@yahoo.co.jp

J R 東 海 労 働 組 合

発行人 淵上 利和
編集人 高山 浩

2015年
6月1日
第361号

JR東海労

http://www.geocities.jp/jrtoukairou/

たしろかおる応援プロジェクトの更なる強化を!

第30回定期大会に結集しよう!

JR東海労は6月14日、第30回定期大会を名古屋市中で開催します。大会で勝ち取るべき課題は、第1に、平和・人権・民主主義を守る闘いを強化することです。安倍政権は、「戦争のできる国」づくりを強行的に進めています。その中心となる安全保障関連諸法案に反対し、憲法9条改悪を許さない闘いを構築しなければなりません。第2は、職場からの闘いをしっかりと展開することです。会社は、ありとあらゆる効率化を推進しています。新幹線車両の検査周期延伸、年休の失効や一方的休日出勤に見られる慢性的要員不足、不公平な人事・賃金制度、関連会社の劣悪な労働条件など、職場には問題が山積しています。こ



昨年の第29回定期大会より

の効率化の主たる目的は、リニア中央新幹線建設のための経費削減に他なりません。職場問題を

解決するために、JR東海労が職場でしっかりと存在感を示し、全組合員で闘いを展開しなければなりません。第3は、組織破壊攻撃にしっかりと反撃し、組織強化・拡大を勝ち取ることです。会社からの不当なボーナスカットは以前から激減したものの、未だに止むことはありません。私たちは、全地本で反撃の闘いを展開してきました。ボーナスカットに対して、労働審判・本人訴訟や労働委員会・行政訴訟の闘いを展開し、会社を追い込んでいます。そして、これらの闘いで培った組織力を背景に、組織拡大に繋がっていかねばなりません。

第4は、全ての闘いを「たしろかおる応援プロジェクト」に結実させることです。言うまでもなく、たしろ議員は私たちの代表であり、JRを始めとする問題解決のために国政の場で奮闘しています。そして、国政の場で戦争にNO!を突き付けるために、なくてはならない存在です。JR東海における問題では、名古屋駅における危険な出区点検の改善に貢献されました。全組合員が全職場から、たしろ議員への支援・連帯をつくり出さなければなりません。大会は、30回という節目でもありません。大会成功のために、積極的な参加をお願いします。

「三鷹事件」竹内氏の遺志を引き継ごう! 新幹線地本が平和研修開催

新幹線地本は5月17日、国鉄三大謀略事件「三鷹事件」を学ぶ平和研修



を行いました。研修には、組合員・家族・OB30名が参加、現地へ赴き、事

件の真相について学習しました。三鷹駅前の事件現場、JR東労組や支援する仲間たちによって建立された慰霊碑、無実を叫びつづ無念にも獄中死された竹内景助氏のお墓を訪れました。現在、竹内氏の遺志を長男が引き継ぎ、2011年11月東京高裁に対して再審請求を申し立てています。参加者は、謀略事件の真相に目を向け続け、事件を風化させてはならないと思いを新たにしました。また、今後も事件の真相を追究し、支援の取り組みを継続していくことを確認しました。

5月22日正午過ぎ、JR九州長崎線肥前竜王駅で、特急「かもめ19号」と「かもめ20号」がかわや正面衝突という事故が発生した。かもめ20号が遅延したため、行き違いの駅が変更され、同列車が先着したという▼JR九州は会見で「列車の位置に関する認識が、運転士と指令員で違っていた」と述べ、運転士と指令との連絡不足がトラブルの一因になったと説明した。一方、かもめ19号は、青信号で駅に進入した。本来、在線中の線路に対する信号機は停止信号でなければならぬ。いかにも運転士と指令員に責任があるかのような見解に思えてならない▼この事故で、1989年の飯田線北殿駅の正面衝突事故を想起させた。当初運転士は、青信号で進入したと証言したが、裁判で証言を覆した。在線中は絶対赤信号というシステムには反論できなかったのだろう。この長崎線の事故で、北殿駅事故はもしかしたら当初の証言通り、青信号だとしても不思議ではない▼大津波警報中、「レール面まで津波は来ない」として新幹線を運行させたJR東海は、橋脚が津波で破壊されることを全く想定していない。システムとマニュアルは完璧だとしても、安全は確保できない。

安倍政権の暴走を許さないぞ!



「平和といのちと人権を！」

5・3憲法集会に参加

5月3日憲法記念日、横浜みなとみらい・臨港パークで「平和といのちと人権を! 5・3憲法集会」が開催されました。

ポーナスカットの不当性を意見陳述

新幹線地本成田委員長本人訴訟・第1回口頭弁論



5月20日、新幹線地本——成田委員長のポーナスカット本人訴訟の第1回口頭弁論が東京地方裁判所で行われました。成田委員長は、2014年夏季手当・年末手当と連続して、不当なポーナスカットを受けました。

成田委員長は、約10分にわたる意見陳述で、減額理由の不当性やJR東海労の闘いに対する妨害・報復を意図した不当労働行為であると堂々と訴えました。裁判終了後、新幹線地本は、久松町区民館に移

たしろ議員 便り



5月17日「大阪都構想」の賛否をめぐる住民投票が行われ、反対が賛成を約1万票上回り、都構想は頓挫し、橋下市長の政界引退・江田代表の辞任が報じられました。「都構想の住民投票は、憲法改正の国民投票の予行練習だ」という意見も

あるように、今回の「住民投票」と憲法改正(改悪)の「国民投票」の性格が似ているといわれていますが、どのような共通点があり、通常の選挙運動とはどう違うのか考えてみたいと思います。まず、通常の選挙運動に比べ規制が緩いということ。選挙では禁じられていた投票日当日の運動も可能で、運動費用にも制限はなく、ネットでの広報活動も何ら規制がありません。共通点はある特定の事項に対し直接投票することで意思表示をすることです。維新の党は、連日膨大な資金と大量の人員を投入して運動をしました。その結果、僅差で否決されましたが、資金力があ

れば、ある程度の世論コントロールが可能だといふ事を示したといえます。終戦直後、山本有三(小説家・参議院議員)が随筆「竹」の中で日本人の特性について興味深い記述があるので紹介します。「日本人というものは、感情的な国民だということです。あることに感激すると急にそれに熱中するが、しかし、うまくいきそうもないと、ぶいど放り出してしまふ。移り気で忍耐力がなくて、一つのことを貫くという精神に欠けている。それに、正しい常識が発達してないために、人民の幸福とか社会正義というようなものは、ほとんど叫ば

れない。ただ、上から与えられた忠孝という観念だけを無常の道徳と信じている」と、安民法制成立を目指す者は、熱しやすく冷めやすく、お上に影響され易いという日本人の特性を利用しつつ、財力・知力を駆使しあらゆる手段を使って世論形成をしてくるのではないのでしょうか。いま私がなすべきことは、戦後70年、私たちに平和をもたらししてきた『憲法9条』の大切さについて組合員の皆さんと議論し、家族・友人・知人と身近な人たちと話し合うことで、政府が目指している「安民法制関連法案成立」を阻止する運動を大きく広げていくことです。

たしろかおる応援プロジェクトを強化しよう!

J R 東海労 O B 会総会

J R 東海労 O B 会は5月13日、名古屋市「ワークライフプラザ」で総会を開催しました。宇留生 O B 会長は挨拶で、安倍政権が進めている「戦争のできる国」づくりを許さないために、たしろかおる応援プロジェクトの更なる強化を呼びかけました。来賓には、楠達男関ヶ原町議会議員と本部長高副委員長が出席し、それぞれ挨拶を受けました。

議論は、たしろかおる応援プロジェクトを成功させるために、O B 会として何をしていくのか意見を話し合い、意思統一しました。以下役員です(人事総会ではないため役員改選なし)。

新 幹 線	6月27日 10時30分
新 静 岡	7月16日 13時
名 古 屋	7月10日 10時30分
新幹線関西	7月12日 10時30分

幹線関西) / 幹事・斉藤孝紀(本部) / 顧問・鈴木重之(名古屋)